

人の縁をバイクに乗せて

関根 正明さん（御堂）



私

には20年以上乗り続けているバイクがあります。2月生まれの私は同級生より免許取得が遅くなり、先にバイク通学を始めた同級生が羨ましく、漠然と乗りたいたいと思っていました。特にこだわりのなく乗れば何でもよかったので、安くて手頃なものを探して16歳で購入したのがこのバイクです。詳細な年式は不明ですが、1965年〜1970年代に製造されたものだと思います。ボロボロの中古だったので18歳まで乗った後は作業場の倉庫に放置していました。その後、再びバイクを乗るようになったのは20年前です。仕事で付き合いのある建材屋とバイクの話で盛り上がり、紹介してもらった腕の良い修理屋に直してもらいました。息子も乗せて近所を乗り回したこともあってか、今では私よりも息子さんの方がハマっています。あのタイミングで建材屋とバイクの話をしなければ、今でも放置されたままで自分と息子は乗っていないなかつたでしょう。不思議な縁を感じますね。かなり古いものなので維持費はかかりますが思い出のバイクです。これから大事に乗っていいこうと思います。

村内事業者のために

私は平成29年度から東秩父村商工会の会長をしており、今年度で7年目を迎えました。東秩父村商工会事務局はコミュニケーションター「やまなみ」内にあり、村内で活動する事業者のために経営に関する相談や指導、各種制度の取り扱い、健康診断など様々なバックアップを行っています。村内で商工業を営む方ならどんなでも入会でき、現在の会員数は100人程度です。何もできず厳しい日々が続いたコロナ禍では、補助金制度やテイクアウト割引サービスなど事業者が存続できるように支援させていただきました。また、令和元年度以降は村内外から新たに5つの事業者が開業してくれたのでありがたいです。村外から来てくれた事業者の中から村に住みたいとの声もあり、今後は空き家などを活用した移住支援も検討していきたいと思っております。

